

2006年3月27日

各 位

会 社 名 株式会社精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野 昌利
(コード番号 6834 JASDAQ)
問合せ先 経営企画室 斎藤 祐司
(TEL 047-388-6401)

会 社 名 NECトーキン株式会社
代表者名 代表取締役社長 仲田 武彦
(コード番号 6759 東証第一部)
問合せ先 広報部長 飯野 善正
(TEL 03-3515-9118)

光デバイス事業に係る営業譲渡の基本合意に関するお知らせ

株式会社精工技研(以下「精工技研」。)およびNECトーキン株式会社(以下「NECトーキン」。)は、NECトーキンの光デバイス事業を精工技研に営業譲渡することについて基本合意に達しましたので、お知らせいたします。

今後、具体的な条件の協議を行ない、本年6月1日に営業譲渡を行なう予定です。

記

1. 営業譲渡の理由

精工技研は、主に情報・通信関連市場に向けて、光通信用部品や同部品の製造機器等を取り扱う光製品事業と、光ディスク成形用金型を主力製品とする精機事業の2事業を展開しております。

光産業は、中期的には、通信トラフィックの加速的な増加により、光通信関連市場において順調な拡大が続くことが見込まれており、長期的には、医療や社会基盤の充実等、あらゆる社会生活を支える分野において飛躍的に発展することが期待されております。

主力事業と位置付ける光製品事業の幅を拡げ、その成長を確実なものにするためには、M&Aや他社とのアライアンスを通して、商品ラインアップ拡充による有力顧客との関係強化や、新たな技術や販売チャネルの獲得による優位性の強化が必要と考え、かねてより事業譲受の機会を求めておりました。

NECトーキンは、情報通信機器等に利用される、エネルギーデバイス、ネットワークデバイス及びファンクショナルデバイスの3事業を展開し、市場の様々な要求に対して多彩なソリューションを提供しております。

中期経営計画の成長戦略として、PC周辺、携帯電話、デジタル家電及び自動車といった分野にフォーカスする方針であります。この分野での売上拡大に向けて、独自材料技術を活用した、プロ-ドライザ、ラミネート電池をはじめとする新規事業に積極

的に投資するとともに、タンタルキャパシタ、磁性デバイス等の既存事業においても新製品を継続的に投入してまいります。

これらの分野へ経営資源を集中する為に、光デバイス事業につきましては、他社への譲渡が適切であると判断し、譲渡先を模索してまいりました。

従来から、精工技研と NEC トーキンは、部品供給を通じ、密接な関係を構築しておりましたが、この度、双方の戦略的方向が一致し、基本合意に至ったものであります。

2. 営業譲渡の内容

対象営業の内容

開発、製造、販売にわたる、光デバイス事業

対象営業の売上高（2004年度）

約13億円

譲渡価額及び決済方法

別途、当事者間で協議の上、決定いたします。

3. 営業譲渡の日程（予定）

2006年4月26日 営業譲渡契約の締結
2006年6月1日 営業譲渡の実施

4. 両社の概要

精工技研の概要

(1)商号	株式会社精工技研（譲受会社）	
(2)本店所在地	千葉県松戸市松飛台296番地の1	
(3)代表者	代表取締役社長 上野 昌利	
(4)資本金	6,791 百万円	
(5)大株主および 持株比率	1.上野 昌利 2.都丸 由美子 3.細江 由紀子 4.有限会社 高志 5.有限会社 光研	9.8% 9.5% 9.5% 7.4% 6.7%
(6)事業内容	光通信用部品・光ディスク成形用金型等の開発・製造・販売	
(7)譲渡会社との関係	両社の間に資本関係、グループ関係はありません。	

（注）上記の数値は2005年9月30日現在のものです。

NECトーキンの概要

(1)商号	NECトーキン株式会社（譲渡会社）	
(2)本店所在地	宮城県仙台市太白区郡山六丁目7番1号	
(3)代表者	代表取締役社長 仲田 武彦	
(4)資本金	12,990 百万円	
(5)大株主および 持株比率	1.日本電気㈱	39.91%
	2.日本トラスティ・サービス信託銀行㈱ (住友信託銀行再信託分・日本電気㈱退職給付信託口)	11.19%
	3.日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	6.39%
	4.資産管理サービス信託銀行㈱(年金信託口)	2.82%
	5.日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口)	2.11%
(6)事業内容	電気磁気材料・部品・応用製品等の開発、製造、販売	

(注) 上記の数値は2005年9月30日現在のものです。

以上